

2019年11月28日

当社のファンドラップ運用がメディアに掲載されました

2019年8月27日付で、日本経済新聞のウェブサイトにて当社のファンドラップ運用に関する記事が掲載されました。当社のCIO(チーフ・インベストメント・オフィサー)である竹崎が、ファンドラップの運用について、詳細かつわかりやすく説明しています。ぜひご覧ください。

日本経済新聞電子版記事「ファンドラップ運用を高度化・竹崎氏(投信観測所)」

<https://webreprint.nikkei.co.jp/r/LinkView.aspx?c=6598996C1AB14297B307198395B8FBFF>

(株式会社日本経済新聞社のウェブサイトへ移動します。)

以上

<費用およびリスク>

ファンドラップ・サービスの費用には、お客さまに直接ご負担いただく費用(投資顧問報酬)と間接的にご負担いただく費用(投資対象となる投資信託に係る費用)とがあります。費用等の合計はこれらを足し合わせた金額となります。投資顧問報酬は固定報酬であり、お客さまの運用資産の時価評価額に対して、最大で年1.375%(税込み、消費税等抜き:1.25%)となります。投資対象となる投資信託については運用管理費用(信託報酬)(信託財産に対し最大で年1.35%(消費税等込み))、信託財産留保額(最大で信託財産の0.30%)のほか、売買等の取引費用や監査費用等のその他の費用が信託財産から差し引かれます。また投資信託が投資する投資信託証券には運用実績に応じて成功報酬がかかるものがあります。なお、これらの費用の合計額および上限額については、資産配分、運用状況、運用実績等に応じて異なるため、具体的な金額・計算方法を示すことができません。

ファンドラップ・サービスは投資信託を主な投資対象として運用を行いますので、投資信託の基準価額等の変動により損失が生じるおそれがあります。詳しくは、契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)およびお客さま向け資料でご確認ください。

商 号 : 株式会社ウエルス・スクエア 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2914号
加 入 協 会: 一般社団法人日本投資顧問業協会